



学校だより

No. 8 さいたま市立神田小学校

平成30年11月30日発行 TEL (853) 4377

URL: <http://jinde-e.saitama-city.ed.jp/>

学校教育目標

人間性豊かで 21世紀を

たくましく生きる神田の子

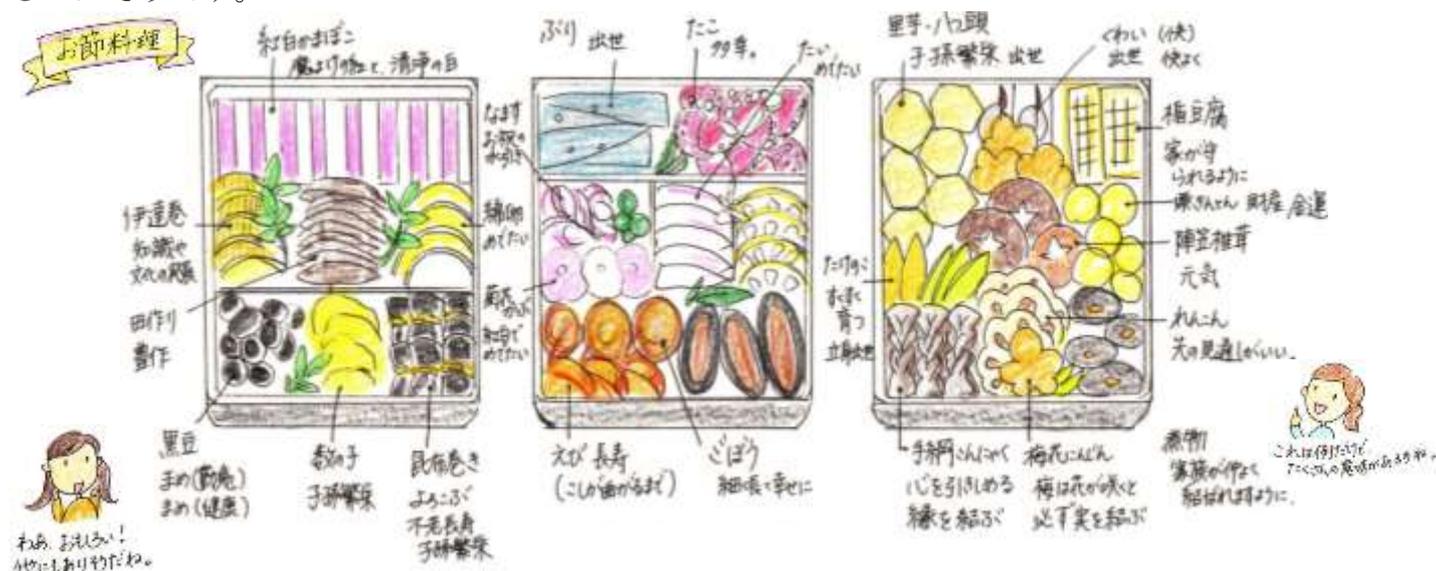
・かしこく ・たくましく ・あたたかく

11月17日(土)の校内音楽会では、1年生はかわいらしい歌声で音楽劇「おおきなかぶ」を演奏演技しました。2年生は音楽物語「スイミー」を力いっぱい歌いました。3年生は、英語を含めて歌とダンスを披露しました。4年生は、あと半年で高学年になるという時、少し大人っぽい歌声で2曲披露しました。5年生は彩の国さいたま芸術劇場で開催された「小中合同音楽会」でも歌った曲を、美しく響かせました。6年生はさすが、最高学年の歌声と思わせる声量、声の響きなど素晴らしいものでした。たくさんの保護者の皆様、地域の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。

「伝統の味に込められたもの」

校長 内野 多美子

早いもので、今年もあと1月となりました。年末年始は、各家庭で様々な過ごし方をされることと思います。日本では、昔から大晦日には年越しそば、元旦にはお節料理を食べるなどの食文化があります。なかでも、元旦に食べるお節の中に入っている料理のひとつひとつに意味が込められ、新しい年を祝うために食べるようになったのは、江戸時代後期からだと言われています。「黒豆」には「まめに働く(勤勉)」「数の子(子孫繁栄)」「昆布巻き(よろこぶ=不老長寿)」「ぶり(出世)」「伊達巻(知識や文化の発展)」など、これは一例ですが、料理それぞれに様々な意味が込められています。これらのお節料理は、重箱に詰められていることが多いですが、これは「めでたさが重なるように」との願いをこめて段重ねの重箱に詰めるのだそうです。



家族で迎える年末年始のひとつ、一つ一つの料理に込められた思いや願いを、じっくり考え、かみしめる機会としていただければと思います。どうぞ、よいお年をお迎えください。